

平成29年度予算案の概要

1. 予算の基本的考え方

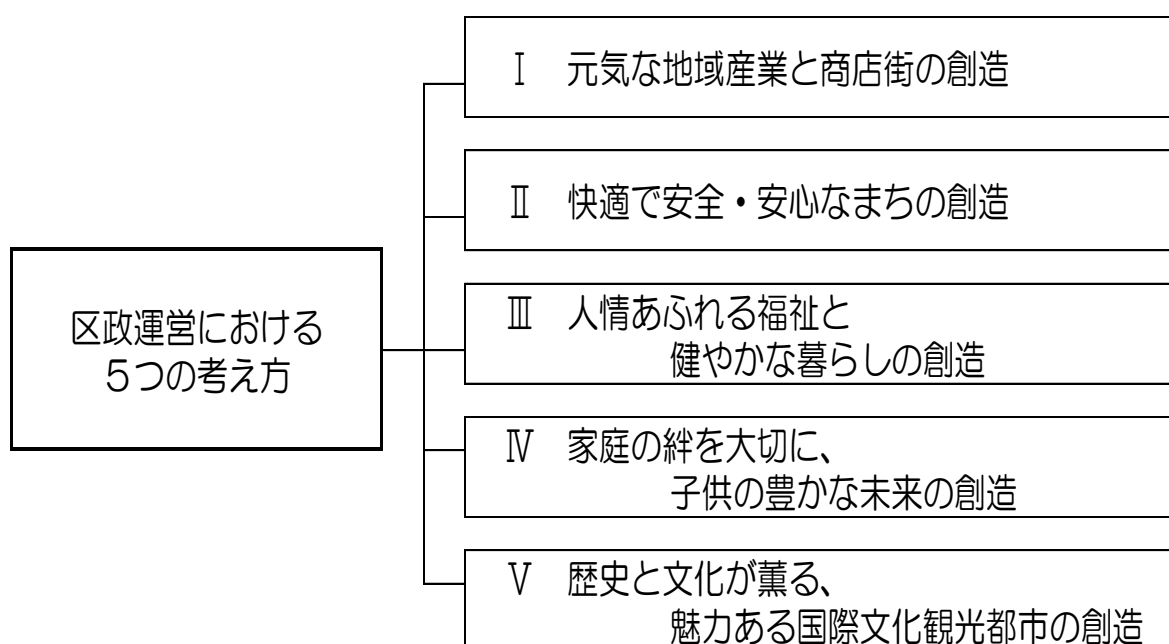
国は、平成29年度の経済見通しについて、「経済対策」などにより、雇用・所得環境が引き続き改善し、好循環が進展する中で、「民需を中心とした景気回復が見込まれる」とする一方、「海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響などに留意する必要がある」との認識を示しています。

区の財政状況は、歳入では、特別区税の増を見込むものの、特別区交付金は、企業収益の減少などの要因により、減を見込んでいます。

一方、歳出では、待機児童対策を始めとする子育て支援や、高齢者・障害者へのサービス、低所得者への支援、区有施設の維持保全への対応など、様々な行政需要が増加傾向にあり、予断を許さない状況です。

平成29年度予算は、編成に先立ち「予算編成方針会議」において、区政の課題や財政状況などについて全庁的な意識の共有化と庁内議論を深めました。

それらを踏まえ、「躍進台東 新しい台東区」の実現に向け、区政運営における5つの考え方に基づき、区の将来を展望した取組みを推進できるよう、予算配分を行っています。



2. 平成29年度 各会計予算（案）

一般会計予算は、歳入歳出それぞれ988億円となり、前年度と比較すると20億円、2.1%の増となっています。

単位：千円、%

会計名	29年度	28年度	比較	増減率
一般会計	98,800,000	96,800,000	2,000,000	2.1
国民健康保険事業会計	28,063,000	27,099,000	964,000	3.6
後期高齢者医療会計	4,564,000	4,381,000	183,000	4.2
介護保険会計	15,789,000	14,942,000	847,000	5.7
老人保健施設会計	120,240	154,979	△ 34,739	△ 22.4
病院施設会計	319,410	512,731	△ 193,321	△ 37.7
合計	147,655,650	143,889,710	3,765,940	2.6